

鹿児島市消防局は梅雨入りを前に12、13日、「水防工法基礎訓練」を実施した。

市消防局

被害を防げ
土のう積み訓練



消防職員や地元消防団員ら計約350人が、市内3消防署ごとに土のう積みなどを実施、洪水時に被害拡大を防ぐ技術を学んだ。

西消防署管内の甲突川右岸(永吉2丁目)では13日、同署員34人と消防団員27人

が土のう作りと積み上げを訓練した。川が増水した想定で、声を掛けながらきばきと、1個あたり約15kgの土のうを50〜60cmの高さに積み上げた。写真。大保禎久署長は「やり方を再確認しながら迅速にできた。市民には自分が住む場所で起こりうる災害について、防災マップで確認してほしい」と呼び掛けた。

消防署員は当番勤務のため、各署とも2日間で計4回実施。中央消防署管内は磯海水浴場(吉野町)、南消防署は谷山建設課中山資材置き場(東谷山7丁目)であった。

2022年5月15日付 13面

【問1】 見出しの空欄に入る語句をア～エから一つ選びましょう。

ア 地震 イ 洪水 ウ 津波 エ 降灰

【問2】 訓練で使った土砂を詰めた袋のことを何といいますか。

【問3】 参加者のうち、本来の仕事や学業がありながら、災害時には消防職員とともに活動するため消火や救助、応急救護訓練を行っている人々を何と言いますか。

【問4】 訓練を指揮した消防署の署長は、市民に防災対策について何と呼びかけていますか。記事中から抜き出して答えましょう。

【調べてみよう】 自分の住む市町村のHPから防災マップをダウンロードし、校区にどのような災害の危険性があるか具体的に調べてみよう。

習っていない漢字とむずかしい言葉の解説

基礎(き・そ) 実施(じっし) 実践(じっ・せん) = 実際に行うこと 洪水(こう・ずい) 被害(ひ・がい)



鹿児島市消防局は梅雨入りを前に12、13日、「水防工法基礎訓練」を実施した。

市消防局

被害を防げ
土のう積み訓練



消防職員や地元消防団員ら計約350人が、市内3消防署ごとに土のう積みなど実践、洪水時に被害拡大を防ぐ技術を学んだ。

西消防署管内の甲突川右岸(永吉2丁目)では13日、同署員34人と消防団員27人

が土のう作りと積み上げを訓練した。川が増水した想定で、声を掛けながらきばきと、1個あたり約15kgの土のうを50〜60cmの高さに積み上げた。写真。大保禎久署長は「やり方を再確認しながら迅速にできた。市民には自分が住む場所ですぐ起こりうる災害について、防災マップで確認してほしい」と呼び掛けた。

消防署員は当番勤務のため、各署とも2日間で計4回実施。中央消防署管内は磯海水浴場(吉野町)、南消防署は谷山建設課中山資材置き場(東谷山7丁目)であった。

2022年5月15日付 13面

【問1】 見出しの空欄に入る語句をア～エから一つ選びましょう。

ア 地震 **イ** 洪水 ウ 津波 エ 降灰

【問2】 訓練で使った土砂を詰めた袋のことを何といいますか。

土のう

【問3】 参加者のうち、本来の仕事や学業がありながら、災害時には消防職員とともに活動するため消火や救助、応急救護訓練を行っている人々を何と言いますか。

消防団員

【問4】 訓練を指揮した消防署の署長は、市民に防災対策について何と呼びかけていますか。記事中から抜き出して答えましょう。

自分が住む場所で起こりうる災害について、防災マップで確認してほしい

【調べてみよう】 自分の住む市町村のHPから防災マップをダウンロードし、校区にどのような災害の危険性があるか具体的に調べてみよう。

習っていない漢字とむずかしい言葉の解説

基礎(き・そ) 実施(じっし) 実践(じっせん) = 実際に行うこと 洪水(こう・ずい) 被害(ひ・がい)

